

アンドリュー・マコーミック

Andrew McCormick

1967年2月5日 ニュージーランド出身

元ラグビー日本代表キャプテン(外国人初のキャプテン)

元東芝ラグビー部ヘッドコーチ

元関西学院大学ラグビー部ヘッドコーチ

元摂南大学ラグビー部コーチ



**ラグビー日本代表の“初代外国人キャプテン”として、ラグビーW杯に出場！
異文化を理解する“グローバルな感性”と、“卓越したリーダーシップ”で日本ラグビー界を牽引！
指導者としてもトップリーグから大学のチームまで指導し、様々な世代に適した育成方針を發揮！**

故郷はラグビー王国ニュージーランド(NZ)。父はNZ代表「オールブラックス」の名選手であり、祖父もNZ代表のラグビー一家で育つ。彼自身も、強豪カンタベリー州の主将などを務めたが、NZ代表には、あと1歩届かなかった。そんな時、東芝府中から誘われ、「環境を変えてみよう」と1992年に来日し、東芝府中ラグビー部に加入する。東芝府中では、顔を赤くし気迫あふれるプレースタイルから「赤鬼」と呼ばれ、その闘志むき出しのタックルは日本ラグビーファンに大きな感動を与えた。

その気迫あるプレーはチーム内でも強い信頼感を獲得し、更にはそのリーダーシップが認められ、1995年から東芝のキャプテンを務め、同チームの日本選手権3連覇に大きく貢献した。

加えて、外国人選手にもかかわらず、日本の異文化を理解するグローバルな感性と卓越したリーダーシップが評価され、1996年に外国人選手として初めてラグビー日本代表のキャプテンに選出され、1999年に同代表をW杯ウェールズ大会出場へ導いた。

その後、2000年に現役を引退し、東芝のヘッドコーチとして同チームを支えた。2002年には、現役復帰し、釜石シーウェイブスでプレーイングマネージャーとして活躍し、同チームのトップイースト優勝に貢献。2004年に現役を再び引退し、その後は指導者として道を歩んだ。

2004年から2008年にはコカコーラレッドスパークスのバックスコーチ、2009年からはNTTドコモレッドハリケーンズのヘッドコーチを務め、当時、下部リーグにいた両チームを抜群の指導力でトップリーグに昇格させた。その指導者としての手腕はトップリーグチーム(社会人チーム)の強化のみならず、大学生にも發揮する。

2012年に関西学院大学ラグビー部ヘッドコーチに就任し、2014年に同チームを関西大学リーグ優勝へと導いた。2016年から2018年には摂南大学ラグビー部コーチを務めた。現在は、自身の現役時代や指導者としてのラグビー経験を、ビジネス界や教育界に生かすべく、講演、メディア等で活躍している。

<経 歴>

1988年	カンタベリー州(ニュージーランド)代表に選出(～1992年)
1988年	ニュージーランド代表コルツチームに選出
1990年	ニュージーランド代表育成チームに選出
1991年	ニュージーランド代表Aチームに選出
1992年	来日 東芝ラグビー部加入(～1999年) ※1995年～98年はチームのキャプテンを務め、3度の社会人リーグ優勝、3度の日本選手権を制覇
1996年	ラグビー日本代表に選出(～1999年) ※1998年より日本代表チームのキャプテンを務める
1999年	ラグビーW杯(ウェールズ大会)に日本代表キャプテンとして出場
2000年	現役を引退 東芝ラグビー部ヘッドコーチ就任(～2001年)
2002年	現役復帰 釜石シーウェイブスに加入 プレーイングコーチ就任(～2003年) ※同チームを2002年トップイースト優勝へ導く
2004年	再び現役を引退 コカコーラレッドスパークス バックスコーチ就任(～2008年) ※同チームをトップリーグへ昇格させる
2009年	NTTドコモレッドハリケーンズ ヘッドコーチ就任(～2011年) ※同チームをトップリーグへ昇格させる
2012年	関西学院大学ラグビー部ヘッドコーチ就任(～2015年) ※2014年に同チームを関西大学ラグビーリーグ制覇へ導く
2016年	摂南大学ラグビー部コーチ就任(～2018年)

